

# A 記録に残す声

## 標準 | 解答と根拠

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答えは認めます。別解は許容する内容の例です。

### 問1 対象の限定

#### 答え ウ

解説 日誌が証明する大雨の日と、写真を撮った日は別の対象である。

### 問2 抜き出し

#### 答え 問いを受け渡す場所

解説 「記録は」の述部に、確定した答えを保存する以外の役割が示される。

### 問3 具体化 解答例36字

#### 解答例 記憶のよりどころを確かめ、二人が同じ出来事を語っているのか判断するため。

解説 記憶の正誤をすぐ決めず、年の根拠と出来事の同一性を確かめている。

別解・許容 「思い出した根拠を聞き、同じ夏の市について話しているか確かめるため。」など。

採点の目安 「年を思い出す根拠」と「同じ出来事かの確認」の二要素。片方のみは一部正答。

### 問4 理由説明 解答例49字

#### 解答例 日誌で大雨の日は確かめられるが、その日が写真の撮影日だとは確認できず、説明が証拠を超えていたから。

解説 日誌に撮影日の記載がないことを根拠に、証明できる範囲を限定する。

別解・許容 「大雨の日」と「写真を撮った日」の区別が保たれる表現を認める。

採点の目安 大雨の日は確認可能／撮影日は確認不可／断定が不適切、の三要素を確認。

## A 記録に残す声

### 標準 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

#### 問5 因果の統合 解答例50字

**解答例** 年の違いを明示した展示を見た人から看板の情報が寄せられ、店の改装記録を調べる手がかりが得られたこと。

解説 展示の仕方→来館者の情報→次の調査という因果をまとめる。

別解・許容 「撮影年を断定しなかったため、改装前らしい看板の情報を得て、改装記録を探せるようになったこと。」など。

採点の目安 不確実さの公開／看板の情報／改装記録の調査、を確認。撮影年が確定したとする答案は不可。

#### 問6 対立しない二面 解答例64字

**解答例** 体験の語りとして名や聞いた日を付けて残しながら、それが写真の日付の証拠になるかは、確認済みの事実や推測と区別して検討できるから。

解説 語りを尊重して保存することと、証拠としての適用範囲を厳密にすることは両立する。

別解・許容 「思い出は記録として尊重し、撮影日の証明力は別に点検する」という関係があれば可。

採点の目安 体験として尊重して残す／証拠としての強さ・対象は別に検討／確認事実・推測との区別、を確認。

## A 記録に残す声

### 標準 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

#### 問7 誤読を修正 解答例71字

**解答例** 筆者は、記憶を排除するのではなく、誰のどのような記憶かを示して残し、確認した事実や推測と区別して、その証拠としての範囲を確かめるべきだと考えた。

解説 ④⑤では記憶を残している。排除ではなく、区別して利用する姿勢へ直す。

別解・許容 語り手の名などの具体例は「出所」とまとめてもよい。

採点の目安 記憶を残す／出所の明示／事実・推測との区別／証明できる範囲の確認、を確認。

#### 問8 全体の統合 解答例83字

**解答例** 初めは迷いのない答えを渡すことが説明だと考えていたが、今は未確定な範囲と確かめ方も示し、読む人が新しい情報を加えて調査を引き継げるようにすることも大切だと考えている。

解説 ①⑥の考えの対比に④の具体例を重ねる。未確定というだけで終わらず、調査の継続可能性を含める。

別解・許容 「完成した結論だけ」から「問いも共有する」への変化でも可。

採点の目安 初めの考え／分かる範囲と未確定の区別／確かめ方を残す／他者が調査を続ける、の四要素。

## B 舞台袖の印

### 標準から応用 | 解答と根拠

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答案は認めます。別解は許容する内容の例です。

#### 問1 表面と本心

##### 答え イ

解説 希望が通らなかった気持ちを抱えつつ、周囲を困らせる前に役割を引き受けようとしている。

#### 問2 抜き出し

##### 答え 番号の横に確認の丸を重ねた

解説 真帆の声の変化を受け止めず、作業の正しさに意識を戻す行動である。

#### 問3 行動の意味 解答例41字

解答例 相手の伝えたいことを聞くよりも、表に従う自分の仕事の正しさを確かめようとする姿勢。

解説 丸自体ではなく、真帆の声に気付いた直後という位置から意味を読む。

別解・許容 「指摘を受け入れず、決められた仕事は果たしていると思いたい」という説明も可。

採点の目安 相手の意図を十分に聞かない／手順どおりの自分を正当化する、の二要素。

## B 舞台袖の印

### 標準から応用 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

#### 問4 認識の変化 解答例53字

**解答例** 照明表はせりふの位置しか示しておらず、表どおりに消すと、人物の迷いを表す振り向く動きが観客に届かないこと。

解説 表の不足と、その不足が舞台で生む結果を結び付ける。

別解・許容 「真帆が顔を上げる前に暗くなる」と具体化してもよい。

採点の目安 表はせりふ中心／演技の動きがある／その動きを見せる前に消してしまう、を確認。

#### 問5 問い方の変化 解答例60字

**解答例** ②では表を根拠に要望を退けていたが、④では真帆が観客に伝えたい人物の様子を聞き、それに合わせて照明を考えようとしている。

解説 自分の正しさを守る発言から、他者の意図を共有する問いへ変わる。

別解・許容 「決まりを押し付ける」から「演技のねらいを確かめる」への変化が伝われば可。

採点の目安 ②の拒む姿勢／④で演技の意図を尋ねる／照明を合わせる意欲、の三要素。

#### 問6 理由の統合 解答例56字

**解答例** 演じるたびに息の長さが変わるので、一定の秒数では動きに合わず、人物の迷いが見える時点で合わせて消したかったから。

解説 固定した時間と、その場の演技への応答を対比する。

別解・許容 「顔が向き、指が緩むところを確かめて、見せたい演技を照明で支えるため」も可。

採点の目安 演技の間は毎回違う／固定秒数では合わない／意図が伝わる動きに合わせる、を確認。

## B 舞台袖の印

標準から応用 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

### 問7 言葉の含意 解答例65字

**解答例** 初めは表を守る自分の正しさにこだわっていたが、今は真帆が表そうとする人物の迷いを受け止め、その演技を照明で支えられたと伝える思い。

**解説** 見えたのは単なる指の動きだけではなく、真帆の演技の意図でもある。

**別解・許容** 「ねらいを共有して一緒に場面を作れたという実感」という表現を認める。

**採点の目安** 初めの自己防衛／真帆の表現意図の理解／協力して場面を支えた実感、を確認。

### 問8 題名と象徴 解答例82字

**解答例** 確認の丸は表を守る自分の正しさを確かめる印だが、白いテープは相手の演技をよく見て支えるための印であり、仕事を自分だけの正解から共同の表現へ捉え直す変化を表している。

**解説** 印を単に道具として比べず、それぞれが何を見るためのものかを対比する。

**別解・許容** 「丸＝自分の作業の確認、テープ＝相手の表現を受け止める準備」という説明も可。

**採点の目安** 丸の役割／テープの役割／独りよがりな手順から協働的な表現への変化、を確認。

## C 例外を残す規則

### 発展 | 解答と根拠

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答案は認めます。別解は許容する内容の例です。

#### 問1 反対意見の位置

##### 答え エ

解説 懸念を認めつつ、公開された追加手段と恣意的な優遇を区別して主張を進める。

#### 問2 対比を説明 解答例62字

**解答例** 手順の統一は全員が同じ時間に窓口へ行くことだが、機会の公平さは電話なども使い、事情が違う人も出演候補に入れるようにすること。

解説 同じ行動を求めることと、候補になれる可能性を確保することに対比する。

別解・許容 「同じ手続き」と「申し込みへの参加可能性」の区別が保たれば可。

採点の目安 手順の同一性／事情に応じた複数の方法／候補に入る機会、を確認。

#### 問3 限定を読む 解答例56字

**解答例** 電話受付は参加を妨げる条件を減らす方法を全員に公開するが、締め切り後の受付は特定の人だけを理由なく優先するから。

解説 「方法が違うから」では不十分。公開される条件と恣意的な優遇の違いを示す。

別解・許容 「利用できる条件が開かれている」対「顔見知りだけに便宜を図る」も可。

採点の目安 公開された参加条件の改善／特定者への理由のない優遇、の二要素。

## C 例外を残す規則

### 発展 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

#### 問4 相談の目的 解答例48字

**解答例** 相談者の出演を保証するためではなく、今の受付方法では申し込めない事情を知り、障壁を確かめるため。

解説 相談の目的を、結果の優遇ではなく入口の条件の点検として捉える。

別解・許容 「申し込みにくさを把握する」という表現を認める。

採点の目安 出演保証ではない／申込方法の困難を把握、の二要素。

#### 問5 複数条件の統合 解答例71字

**解答例** 出演人数の限界という運営上の制約は守りつつ、規則の目的に照らし、参加の機会を不必要に狭める条件を、説明できる理由に基づいて変えようとしている。

解説 制約をなくすのでも、全部維持するのでもない。目的と説明可能性を伴う調整である。

別解・許容 人数以外も「運営できる範囲」とまとめてよい。

採点の目安 運営制約の保持／参加障壁の改善／目的に照らした説明可能な条件、を確認。

#### 問6 逆説的表現 解答例49字

**解答例** 作り手が気付かなかった参加の難しさを知り、規則を目的に合うものへ見直すための情報として捉えている。

解説 相談を運営への妨害や無条件の要求ではなく、見落とした条件を示す情報と読む。

別解・許容 「標準にしていた事情の偏りに気付く手がかり」も可。

採点の目安 見落としていた参加条件の発見／規則改善への利用、の二要素。

## C 例外を残す規則

### 発展 | 解答と根拠

解答・解説 つづき

#### 問7 誤読の修正 解答例67字

**解答例** 筆者は出演人数の制約を残し、抽選で決める方法を認めており、望む結果を全員に与えることと、候補に入る機会を整えることを区別しているから。

解説 ②の抽選、⑤の人数制約、⑥の結果と条件の区別を統合する。

別解・許容 抽選への直接言及がなくても、人数制約と機会・結果の区別が明確なら可。

採点の目安 人数制約／結果の保証ではない／候補に入る機会の公平、を確認。

#### 問8 主張の条件付き要約 解答例92字

**解答例** 規則の目的と運営の制約を確かめ、参加しにくい人の事情を情報として受け止め、機会を不必要に狭める条件を見直す。別の方法を認める条件と変更の理由を公開し、利用者が見通しを持てるようにする。

解説 ①から⑥を、問題の発見→判断基準→改善と周知の順にまとめる。

別解・許容 「全員に同じ手順を求めるだけでは公平でない」を導入に入れてもよい。

採点の目安 参加障壁の把握／目的・制約に沿う改善／別の方法の条件と理由の説明／予測可能性。指定三語・字数も確認。

## D 測る前に決めること

定期テスト対策 | 解答と根拠 | 100点

表現が違ってても、必要な内容・字数・問いの条件を満たす答案は認めます。別解は許容する内容の例です。

### 問1 問いの把握 (8点)

答え ア

解説 何のための比較かが未確定で、先に使い方を明らかにする必要がある。

採点の目安 正答8点。

### 問2 根拠の範囲 (8点)

答え ウ

解説 本文が示すのは、音の状況が日や活動で変わることを。永続的な優劣は示さない。

採点の目安 正答8点。

### 問3 具体化 (10点) 解答例50字

解答例 一人で静かに読む使い方と友達と本について話す使い方があり、移動時間が長いと読書時間が減るという条件。

解説 「静かさ」の意味を左右する目的の違いと、別の必要条件を整理する。

別解・許容 読書する人と話す人の対比、および移動の所要時間があれば可。

採点の目安 一人で読む3点／友達と本について話す3点／移動が読書時間を減らす4点。字数外は合計から1点減、下限0点。

## D 測る前に決めること

定期テスト対策 | 解答と根拠 | 100点

解答・解説 つづき

### 問4 比較の条件〔12点〕 解答例60字

**解答例** 二か所を順番に測ったため時刻が違い、行事の準備や人通りの状況も異なって、場所以外の条件が数値に影響した可能性があるから。

解説 場所の差と、時刻・活動の差が重なっている点が問題。

別解・許容 時間帯と活動状況の二種類が明確なら、例の言い換えを認める。

採点の目安 測る時刻の違い4点／活動・人通りの違い4点／数値への影響の可能性4点。字数外1点減、下限0点。

### 問5 方法と目的〔14点〕 解答例45字

**解答例** 機器ごとの測定値のずれを確かめ、そのずれを場所による音の違いと取り違えないようにするため。

解説 同じ型でも個体差の可能性はある。機器の差を点検する手順を読む。

別解・許容 「機器の違いの影響を点検し、場所の比較を確かにするため」も可。

採点の目安 機器間のずれを確認7点／場所の差との混同を防ぐ7点。字数外1点減、下限0点。

### 問6 複数根拠の統合〔16点〕 解答例71字

**解答例** 音の大きさを比較する資料として数値を用いながら、まぶしさや人が後ろを通るときの集中のしにくさなど、試用で分かる条件も加えて判断したということ。

解説 数値の役割を否定するのではなく、測定できない側面を別の根拠で補っている。

別解・許容 「通路をふさがないか」を試用・現場確認の条件に挙げてもよい。

採点の目安 音の大きさの根拠として数値を使う6点／試用で別条件を確認6点／両者を合わせて判断4点。字数外1点減、下限0点。

## D 測る前に決めること

定期テスト対策 | 解答と根拠 | 100点

解答・解説 つづき

### 問7 誤読の修正〔16点〕 解答例66字

**解答例** 使い方を明確にして音の数値や試用で分かった条件を比べ、一人で読む場所と本について話す場所を分け、行事の日には案内を変える案を作った。

**解説** 万能の場所を一つ選んだのではなく、目的と状況に応じて使い分ける案である。

**別解・許容** 最後を「状況に応じて場所を使い分けることにした」とまとめてもよい。

**採点の目安** 目的の明確化4点／数値と他条件の併用4点／二つの使い方に分ける4点／行事時の変更4点。字数外1点減、下限0点。

### 問8 全体の統合〔16点〕 解答例86字

**解答例** 誰のどんな使い方に役立てるかという問いを明確にし、測った時刻や活動などの条件と、数値だけでは捉えられない限界を示す。ほかの根拠も合わせ、判断を他者と確かめ合うことが大切だ。

**解説** ①の思い込みから⑥の考えへ変わった要点をまとめる。

**別解・許容** 「何をよいとするかを人が考える」ことを明示してもよい。

**採点の目安** 目的・問い4点／測定条件4点／測定の限界4点／別根拠・他者との検討4点。字数外1点、指定語不足1点を合計から減点。下限0点。